

エコアクション21 環境活動レポート 2007

初 版【平成 19 年 1 月～平成 19 年 3 月】

平成 19 年 5 月 30 日発行



〒904-0012

沖縄県沖縄市安慶田 5 丁目 2 番 9 号

TEL 098-933-3157 (代)

FAX 098-932-0098

沖縄市管工事協同組合

レポート発行責任者 岳原 孝

組 合 の 概 要

名 称 沖縄市管工事協同組合
所在地 〒904-0012 沖縄県沖縄市安慶田五丁目2番9号
代表理事 上地 武久
ホームページ <http://www.okikankyo.or.jp/>

組合員の資格

- (1) 沖縄市より指定給水装置工事事業者並びに下水道排水設備指定工事店の指定を受けている管工事事業者であること。
- (2) 組合の地区内(沖縄市)に事業場を有すること。

組合員の数 23名
役員の数 9名(理事7名、監事2名)
事務局役員数 20名(常勤役員1名、総務部7名、工事部12名)
出資金の額 76,420,000円

組合の共同事業

- (1) 共同購買事業『管工事関連資材全般 年間売上高 約3億9千万円』
- (2) 共同受注事業『下水道維持管理・土木工事等 完成工事高 約1億3千万円』
- (3) 各種事務代行業業 (4) 教育情報事業 (5) 福利厚生事業
- (6) 労働保険事務組合

組合の共同事業の許可事項

- (1) 建設業許可
 - イ. 沖縄県知事許可 (特 16) 第3399号
 - ロ. 工事の種類 土木工事業・管工事業、水道施設工事業
- (2) 官公需適格組合証明(取得:昭和52年2月)
 - イ. 許可行政庁 沖縄総合事務局 府経中小第232号
 - ロ. 工事の種類 土木一式工事、管工事、水道施設工事

環境方針

沖縄市管工事協同組合は、組合事業において生ずる環境負荷に配慮し、次の個別の方針を定め、全職員が一丸となり環境保全に対する自主的な取組みを行なうと同時に、その活動の内容と結果を、組合員に指導・普及する事で「地域環境・生活環境にやさしい管工事業界」の実現を目指します。

- 1 . 事業活動による環境負荷の現状を踏まえた目標を定めて、環境保全活動の継続的な改善に努める。
- 2 . 環境に関する法規制及び関連するその他の要求事項を遵守し、地域社会との調和に努める。
- 3 . 環境負荷の低減を図るために、次の項目について具体的に取り組む。
 - 1) CO₂ (二酸化炭素) の排出量の削減
 - 2) 資源の再利用
 - 3) リサイクル商品の積極的活用
 - 4) 廃棄物及び粉塵・騒音・振動等の削減
 - 5) 雨水の活用などによる節水
 - 6) 構内外及び地域の緑化・清掃への取組みの強化
 - 7) 定期的な見直しと改善

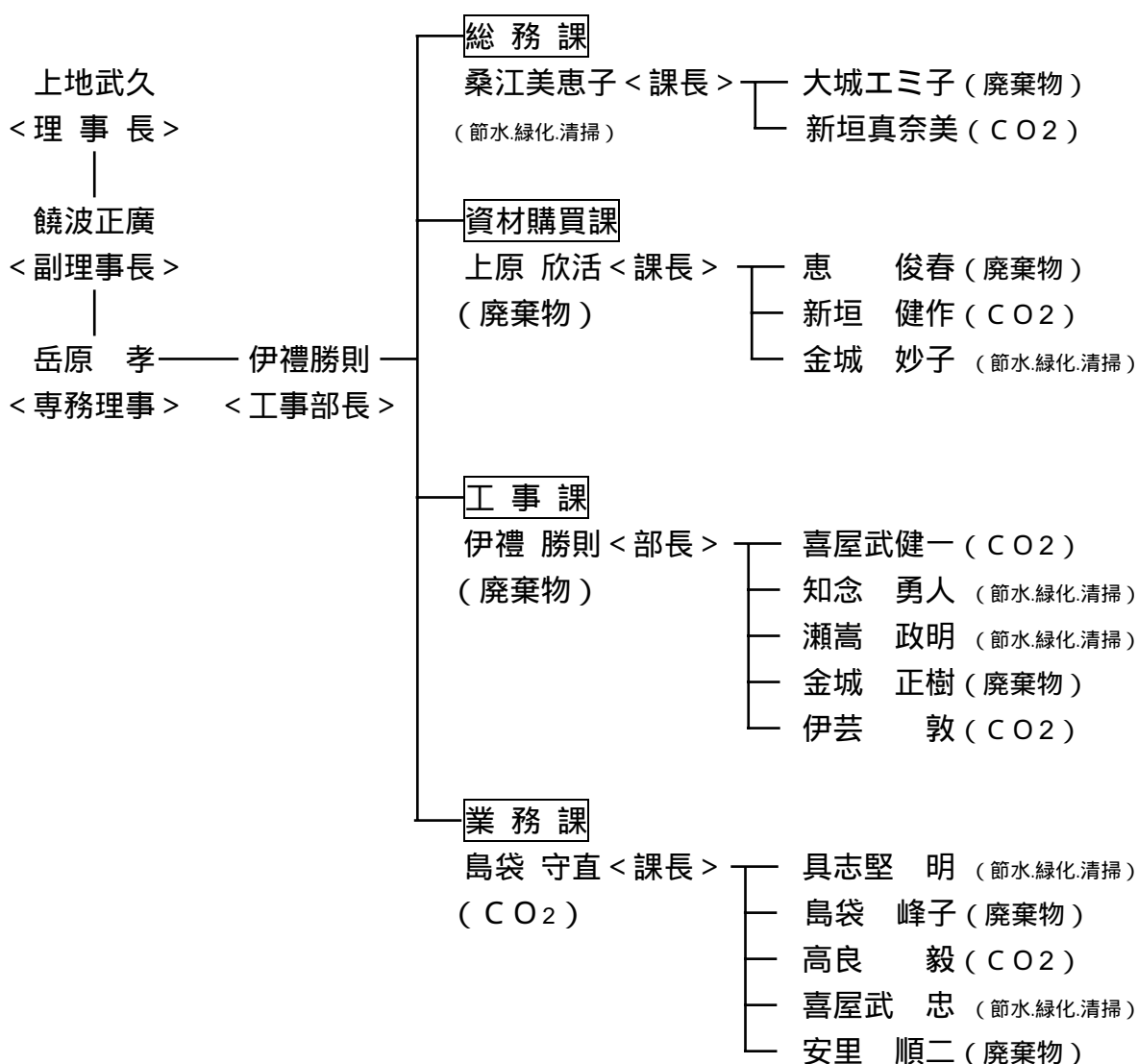
作成年月日	平成 18年12月25日
会社名	沖縄市管工事協同組合
代表者名	代表理事 上地 武久
管理責任者名	専務理事 岳原 孝

実施体制

「環境管理委員会」

- 委員長：岳原 孝 <専務理事>
- 副委員長：伊禮勝則 <工事部長>
- 事務会計：島袋峰子 <EA21事務局>
- 委員：桑江美恵子、上原欣活、島袋守直 <責任者>

「環境管理・実施体制」 ()担当



環境活動計画

1) CO₂ (二酸化炭素) の排出量の削減

- 車両の「アイドリングの禁止」を徹底する。
- 工事車両の使用前点検の実施と給油時におけるタイヤ空気圧を点検する。
- 急発進・急加速をせず、安全運転を徹底する。
- 社用車購入時における環境負荷の少ない車両への変更を検討・推進する。
- 事務所内に寒暖計を設置し、夏場のエアコンは、室内温度を常時 28 度になるよう設定する。また冬場のヒーターは、室内温度が 15 度以下の場合に運転し、概ね 20 度を目処に設定する。
- 使用していない場所の照明は常に消灯する。

2) 資源の再利用

- 産業廃棄物の最終処分及び焼却処分を削減するため、分別排出の徹底に努める。
- 資材購買課から出る大量のダンボール紙は分別し、再生業者への排出を徹底する。
- 使用済み北用紙の再利用 (北用紙) を徹底する。
- 会議や職員の昼食等から出る残飯は可能な限りコンポスト化し、再生用土として活用する。生ゴミ再生器 (Dandan Mini) の活用

3) リサイクル商品の積極的活用

- 現場の埋め戻し部材は可能な限り再生コールを使用する。

4) 廃棄物及び粉塵・騒音・振動等の削減

- 鋼管・ビニール管の効率的な寸法切断を徹底し、残材の排出削減を徹底する。
- 工事現場で発生する粉塵・騒音・振動を最小限に抑える。

5) 雨水の活用などによる節水

- 事務所屋根より集水した雨水を貯留し、構内の散水、工事現場の洗浄・粉塵防止、洗車などに有効活用する事で、上水利用の削減を図る。

6) 構内外及び地域の緑化・清掃への取組みの強化

- 組合事務所構内の緑化及び清掃の作業計画書を作成し取り組む。
- 市行政及び地域等の行なう緑化・清掃作業に積極的に参画していく。

7) 定期的な見直しと改善

- 環境負荷の低減及び環境改善を図るために、定期的に環境管理委員会を開催し、PDCA を実施する。(年 / 6 回・第 4 月曜日に開催)

環境目標とその実績

本組合は、平成 19 年 1 月にキックオフをし、エコアクション 21 に取組む前の平成 17 年度（平成 18 年、1 月～3 月）を基準年とし、平成 18 年度（平成 19 年、1 月～3 月）の目標を設定して取組んできました。

平成 19 年度から先 3 年間も、エコアクション 21 を取組む前の平成 17 年度（平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月）を基準年とし、年間の目標を定めて取組みます。

1) CO2（二酸化炭素）の排出量削減

項目	年度	平成 18 年度 (1～3月)		平成 17 年度 基準年	平成 19 年度 (4月～3月)	
	平成 17 年度 1～3月	目標	実績	4～3月実績	目標	実績
電力使用量 (kwh)	10,122	-3% 9,819	-12% 8,981	51,996	(8%) 47,836	
CO2 排出量 (kg)	3,826	-3% 3,711	-12% 3,395	19,654	(8%) 18,082	
化石燃料使用 量 (㊦)	3,807	-5% 3,617	-16% 3,203	15,630	(2%) 15,317	
LP ガス使用 量 (kg)	7.6	-5% 7.2	-30% 5.3	20.6	(2%) 20.2	
CO2 排出量 (kg)	9,413	-5% 8,942	-17% 7,829	38,718	(2%) 37,944	

項目	年度	平成 20 年度 (4月～3月)		平成 21 年度 (4月～3月)	
		目標	実績	目標	実績
電力使用量 (kwh)		(10%) 46,796		(12%) 46,276	
CO2 排出量 (kg)		(10%) 17,689		(12%) 17,296	
化石燃料使用 量 (㊦)		(4%) 15,005		(6%) 14,692	
LP ガス使用 量 (kg)		(4%) 19.8		(6%) 19.4	
CO2 排出量 (kg)		(4%) 37,169		(6%) 36,395	

環境活動の取組計画

1.電力使用量の削減

空調温度管理の徹底をして、設定温度・節電ルールを表示を実施。

照明管理の徹底 昼休憩時や無人部屋の照明消灯の推進

退社時のパソコンモニター電源 off の習慣づけ

2月より販売機照明の24時間消灯

(以前は防犯の為、2台中1台は24時間点灯していたが、防犯灯を設置した為。)

” 消火ポンプ不使用の為撤去

節電啓発表示

無人部屋の消灯



評価

暖冬の影響もあり、電気ストーブの稼働率が低かった。

全職員が照明管理の徹底を行い、お互い注意しあったり、無人部屋の照明消灯を徹底して行った為、目標以上の削減が出来た。

退社時には、パソコンのモニター電源 off を最終確認して退社するよう心がけた。

2.ガソリン・軽油使用量の削減

使用量のチェック

エコドライブの実践

アイドリングの防止

適正なタイヤの空気圧

評価

エコドライブを心がける。

自動車、オートバイを運転する場合タイヤの空気圧などのチェックやスピードの出しすぎに注意するよう心がけた。

エコドライブ啓発表示



2) 資源の再利用 (廃棄物排出削減)

環境活動の取組計画

産業廃棄物の、アスファルト、鉄筋入りのコンクリートは再生業者へ、木材・塩ビ管等は、単純焼却へと分別して排出。

アスファルト = 琉球開発(株) コンクリート (鉄筋入り) = (有)高原建設
木材、塩ビ管 = (株)倉敷環境

大量のダンボールや新聞紙、雑誌等は、指定の再生業者へ排出し、リサイクル報告書を発行してもらう。(沖縄コロニー)

片面使用済みコピー用紙は、再生紙として利用し、両面使用の物は、再生業者へ排出。(沖縄コロニー)

会議や昼食後の残飯は、すべて生ゴミ再生機へ排出。

一般廃棄物分別の徹底「各ゴミ箱置き場に 5 種分別 (スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・ビン・燃えるゴミ) 表示を貼付」

廃棄物 5 種分別



評価

廃棄物分別の徹底を全職員に浸透させ、一般廃棄物に関しては、各ゴミ箱置き場に、分別表を表示し、ゴミを出す際には、計量を行って意識付けするよう心がけた。

一般廃棄物は、出来る限り再生業者を探し、リサイクル(スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・ダンボール)へまわせるよう心がけた。

現在では、スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・新聞紙・ダンボールは、再生業者へ廃棄している。

スチール缶・アルミ缶 = 拓南商事(株) ペットボトル = (有)エコクリーン沖縄
ペットボトルの蓋 = (合)導プランニング

排出物の計量



一般廃棄物削減

一般廃棄物は、19年1月より3ヵ月間の計量結果のみなので、この数値から今年度の数値を想定して、先3年間の目標を定めています。

18年度実績の出し方

H19年1月～3月まで一般廃棄物の計量を行った結果。

1月の合計 68.75kg 2月の合計 90.45kg 3月の合計 128.9kg となった。

上記の結果から1年の排出量を想定する。

普通月「1月と2月の平均×1.2（1,2月は日数が少なかった為）」

$$(68.75+90.45) \div 2 = 79.6 \quad 79.6 \times 1.2 = 95.5$$

$$95.5 \times 8 \text{ヶ月} = 764$$

年2回の大掃除（普通月の1.6倍）

$$(95.5 \times 2 \times 1.6 = 305.6)$$

決算時「棚卸（年2回）」（普通月の1.4倍）

$$(95.5 \times 2 \times 1.4 = 267.4)$$

$$764+305.6+267.4 = 1,337$$

年度 項目	平成 18 年度 (4月～3月)	平成 19 年度 (4月～3月)		平成 20 年度 (4月～3月)		平成 21 年度 (4月～3月)	
	基準年	目標	実績	目標	実績	目標	実績
一般廃棄物 (kg)	1,337	(3%) 1,297		(5%) 1,270		(6%) 1,257	

3) リサイクル商品の積極的活用

環境活動の取組計画

現場の埋め戻しは、すべて再生コーラル・再生路盤材を使用する。
コピー用紙、トイレトーパー等再生紙を購入するよう心がける。

評価

発注者より、再生路盤材を進められている。
再生路盤材は、雨ふりでも使用しやすい。

産業廃棄物のリサイクル率

単純焼却

単位：t

	塩ビ管	建築木材	合計
平成 18 年度	0.61	1.49	2.1

リサイクル業者へ

単位：t

	アスファルト	コンクリート	合計
平成 18 年度	63.87	37.39	101.26

単位：t

	ダンボール	雑誌、チラシ	合計
平成 18 年度	1.03	0.38	1.41

$$\frac{102.67}{104.76} \times 100 = 98\%$$

評価

平成 18 年度の産業廃棄物リサイクル率は、98%だった。
 今後、100%に近づける努力をする。

4) 廃棄物及び粉塵・騒音・振動等の削減

環境活動の取組計画

塩ビ管を効率的に切断し、残材の排出削減を徹底する。
 超低騒音型、低公害エンジン搭載の重機を購入する。

評価

職員が意識するようになり、以前より塩ビ管の残材が減った。

5) 雨水の活用などによる節水(上水道使用量削減)

年度 項目	平成 17 年度 1~3月	平成 18 年度 (1~3月)		平成 17 年度 基準年 4~3月実績	平成 19 年度 (4月~3月)	
	実績	目標	実績		目標	実績
上水道使用 量 (m3)	88	-5% 84	+6.4% 94	415	(7%) 386	

年度 項目	平成 20 年度 (4月~3月)		平成 21 年度 (4月~3月)	
	目標	実績	目標	実績
上水道使用 量 (m3)	(9%) 378		(10%) 374	

環境活動の取組計画

- 節水ラベルの貼付
- 蛇口のコマめなチェック
- トイレ用水の節減
- 可能な限り、雨水を使用。
- 構内の散水、工事現場の洗浄、洗車等は、有効な限り雨水を使用する。

節水啓発表示(室内)



評 価

昨年、から梅雨で、雨水タンクの貯水量が少なかった。その為車の洗浄や構内の洗浄に水道水を使った事で使用量が増加したと思われる。過去3年比では、平均的使用量ではあった。来年度さらに節水に取り組むため、雨水タンクを増設する予定。

6) 構内外及び地域の緑化・清掃への取り組みの強化

環境活動の取組計画

組合事務所構内の緑化及び清掃の作業計画書を作成し取組む。

地域よりボランティアの呼びかけがある場合には、積極的に参加する。

評 価

緑化、清掃には積極的に取組、毎日の清掃・トイレ掃除、2階ホールなどの清掃は、当番表を作り、全員で行っている。又、朝は全職員、10分前出勤をし、清掃に取り組んでいる。

地域への環境美化への取組にも積極的に参加している。

比謝川河川・草刈作業（H19.1.7） 沖縄市産業まつりろ過装置設置提供
塩ビ管リサイクル説明会等（H19.2.21） （H19.1.13）

沖縄市産業まつり ろ過装置設置 提供



油脂や残飯を排水構へ流さない為

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関連法等への違反はなく、又関係機関からの指導や訴訟、外部からの苦情等は1件もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し 代表理事 上地 武久

組合事務局での「エコアクション21」の取組みは、短期間（3ヶ月）ではあったが、環境に対する職員の意識が格段に向上した。今後数値目標を設定し、具体的に取り組む事で、CO₂の削減に向けて大きな成果が期待できる。

又、組合員企業5社と同時にキックオフをした事で、互いに情報を共有して、共同で取り組むことができ、今後他の組合員企業への普及を図ることで、管工事業界として地域社会の環境改善に貢献していく。（平成19年5月25日）